

網使用料算定根拠

県内NGN

<東日本>

目 次

I.算定手順	2
II.原価の算定及び料金の設定	
1. 設備別原価の算定	3
2. 機能別原価の算定及び料金の設定	8
3. 前期料金適用期間における乖離額の算定	24
4. その他の乖離額等の算定	26
5. その他の機能の原価の算定及び料金の設定	27
III.投資等比率及び貯蔵品比率の算定	29
IV.接続料収納までの平均的な日数の算定	30
V.資本構成比率の算定	31
VI.他人資本利子率の算定	32
VII.自己資本利益率の算定	33
VIII.利益対応税率の算定	34
IX.料金設定に用いた設備数及びトラヒック	36
X.料金設定に使用する貸倒率	37
(別紙)	
1. コストの分計に用いた契約数比等	38
2. コストの分計に用いた取得資産価額比等	38
3. コストの分計に用いたトラヒック比等	38
4. コストの分計に用いたトラヒック比等	38
5. QoS制御係数算出の考え方	39
6. QoS制御係数の算出	40
7. 帯域制御係数の設定	41
(別添)	
1. 収容ルータの設備管理運営費	42
2. 収容ルータの固定資産	43
3. 中継ルータの設備管理運営費	44
4. 中継ルータの固定資産	45
5. SIPサーバの設備管理運営費	46
6. SIPサーバの固定資産	47
7. ゲートウェイルータの設備管理運営費	48
8. ゲートウェイルータの固定資産	49
9. 収容ルータ(SNI等)の設備管理運営費	50
10. 収容ルータ(SNI等)の固定資産	51
11. 網終端装置(ISP)の設備管理運営費	52
12. 網終端装置(ISP)の固定資産	53
13. 伝送路の設備管理運営費	54
14. 伝送路の固定資産	55
15. セッションボーダコントローラの設備管理運営費	56
16. セッションボーダコントローラの固定資産	57
17. ENUMサーバの設備管理運営費	58
18. ENUMサーバの固定資産	59
19. IP電話用DNSサーバの設備管理運営費	60
20. IP電話用DNSサーバの固定資産	61
(参考)	
1. 設備区分別費用明細表	62
2. 設備区分別固定資産明細表	63
3. 設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備等の内訳)	65
4. 設備区分別固定資産明細表(一般第一種指定設備等の内訳)	66
5. 設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)	67
6. 設備区分別固定資産明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)	68

I. 算定手順

• 第一種指定電気通信設備接続料規則第8条2項2号に基づき、2024年度から2028年度の原価を予測し接続料を算定			
1. 設備別原価の算定			
第一種指定電気通信設備接続会計規則	第一種指定電気通信設備接続料規則	2. 機能別原価の算定及び料金の設定	
全社の費用 (2023年度実績)	設備区分別の費用明細表	機能別料金 (他人資本費用、自己資本費用、利益対応税※1、乖離額等※2を加算)	
東日本	收容ルータ	端交換機能	3. その他の機能の原価の算定及び料金の設定 (組み合わせ適用料金)
	網終端装置 (ISP)	下記以外	
	ゲートウェイルータ	専らIP電話の提供の用に供するもの	
	收容ルータ (SNI等)	優先クラスを識別するもの	
	收容ルータのうち専らIP電話の提供の用に供するもの	SIPサーバを用いて制御するもの	
		上記以外	
	中継ルータ	網終端装置 (ISP)	
	伝送路	新ゲートウェイルータ	
	SIPサーバ	最優先クラス	
	セッションボーダコントローラ	高優先クラス	
一般第一種指定設備		優先クラス	
ENUMサーバ		ベストエフォート	
IP電話用DNSサーバ		専ら光IP電話の提供の用に供するもの	
		上記以外	
		SIP信号変換機能	
		番号管理機能	
		ドメイン名管理機能	
			組み合わせ適用料金
			一般收容局ルータ接続ルーティング伝送機能 (收容局接続機能)
			光IP電話接続機能 (県内NGN)
			メタルIP電話接続機能 (県内NGN)

※1 原価に加算する利益対応税については、2025年4月1日より開始する事業年度に適用される利益対応税率 (42.35%)を用いて算定
乖離額算定時の原価については、2023年4月1日より開始する事業年度に適用される利益対応税 (42.35%)を用いて算定
※2 一般收容局ルータ優先パケット識別機能 (優先クラスを識別するもの)、一般中継系ルータ交換伝送機能 (優先クラス)を除く機能においては、組合せ適用接続機能の原価に加算し算定

Ⅱ.原価の算定及び料金の設定

1. 設備別原価の算定

1ー1. 2024年度設備別原価

(単位:百万円)

区分	収容ルータ	収容ルータ (1Gbps)	収容ルータ (10Gbps)	中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ	新ゲートウェイルータ (再掲)	収容ルータ (SNI等)	SNIルータ (再掲) (IP電話)	網終端装置 (ISP)	伝送路	ダークファイバ以外	ダークファイバ	セッション ボードコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
①設備管理運営費	27,147	25,091	2,056	964	9,696	40	5	773	289	15,187	9,453	8,974	479	159	226	65	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	41	36	4	2	16	0	0	1	1	20	37	35	2	0	0	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	2,077	1,859	218	83	835	3	1	68	26	1,037	1,897	1,777	120	14	20	6	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利益率
④利益対応税	887	794	93	35	357	1	0	29	11	443	810	759	51	6	9	3	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	30,152	27,780	2,371	1,084	10,904	44	6	871	327	16,687	12,197	11,545	652	179	255	74	①+②+③+④

⑥正味固定資産	46,209	41,257	4,952	1,860	18,712	73	16	1,524	594	22,913	44,126	41,326	2,800	314	441	128	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
	166	149	18	7	67	0	0	5	2	82	159	149	10	1	2	0	⑥正味固定資産×投資等比率
	818	730	88	33	331	1	0	27	11	406	781	731	50	6	8	2	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
	2,686	2,511	175	89	931	4	1	73	27	1,511	477	455	22	13	18	5	(①設備管理運営費-(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース	49,879	44,647	5,233	1,989	20,041	78	17	1,629	634	24,912	45,543	42,661	2,882	334	469	135	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額	8,267	7,400	867	330	3,322	13	3	270	105	4,129	7,549	7,071	478	55	78	22	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	694	649	45	25	289	1	0	19	7	381	553	414	139	2	3	1	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	4,942	4,329	613	223	1,950	10	1	168	65	2,670	5,063	4,909	154	56	79	23	
⑭固定資産除却損	25	25	0	1	11	0	0	2	0	50	19	11	8	0	0	0	

区分	収容ルータ	収容ルータ (1Gbps)	収容ルータ (10Gbps)	中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ	新ゲートウェイルータ (再掲)	収容ルータ (SNI等)	SNIルータ (再掲) (IP電話)	網終端装置 (ISP)	伝送路	ダークファイバ 以外	ダークファイバ	セッション ボードコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
①設備管理運営費	28,857	24,425	4,432	1,052	11,821	5	5	789	281	12,091	9,644	9,137	507	164	235	67	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	44	35	9	2	22	0	0	1	0	16	37	34	3	0	0	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	2,324	1,854	470	94	1,157	1	1	71	26	835	1,935	1,797	138	15	21	6	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利益率
④利益対応税	992	792	201	40	494	0	0	30	11	356	826	767	59	6	9	3	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	32,217	27,106	5,112	1,188	13,494	6	6	891	318	13,298	12,442	11,735	707	185	265	76	①+②+③+④

	⑥正味固定資産	50,217	39,852	10,365	2,045	25,288	15	15	1,537	556	17,854	43,608	40,492	3,116	320	451	128	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
	⑦投資等	181	143	37	7	91	0	0	6	2	64	157	146	11	1	2	0	⑥正味固定資産×投資等比率
	⑧貯蔵品	889	705	183	36	448	0	0	27	10	316	772	717	55	6	8	2	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
	⑨運転資本	2,777	2,428	349	97	1,087	1	1	74	26	1,189	471	449	22	13	19	5	(①設備管理運営費－(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース		54,064	43,128	10,934	2,185	26,914	16	16	1,644	594	19,423	45,008	41,804	3,204	340	480	135	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額		8,961	7,148	1,812	362	4,461	3	3	272	98	3,219	7,460	6,929	531	56	80	22	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課		721	627	94	27	391	0	0	20	7	297	561	406	155	2	3	1	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費		5,614	4,349	1,265	252	2,717	1	1	177	64	2,244	5,294	5,129	165	59	84	25	
⑭固定資産除却損		306	25	281	1	15	0	0	2	0	42	20	11	9	0	0	0	

区分	収容ルータ	収容ルータ (1Gbps)	収容ルータ (10Gbps)	中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ	新ゲートウェイルータ (再掲)	収容ルータ (SNI等)	SNIルータ (再掲) (IP電話)	網終端装置 (ISP)	伝送路	ダークファイバ 以外	ダークファイバ	セッション ボードコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
①設備管理運営費	29,800	22,395	7,405	1,136	13,497	5	5	803	274	11,132	9,859	9,321	538	162	232	66	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	46	29	16	2	27	0	0	1	0	15	36	33	3	0	0	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	2,404	1,552	852	102	1,417	1	1	71	24	780	1,910	1,758	152	14	20	6	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利益率
④利益対応税	1,026	663	364	44	605	0	0	30	10	333	815	751	65	6	9	3	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	33,276	24,639	8,637	1,284	15,546	6	6	905	308	12,260	12,620	11,863	758	182	261	75	①+②+③+④

	⑥正味固定資産	52,113	33,302	18,811	2,216	31,105	14	14	1,542	518	16,679	43,029	39,599	3,430	308	433	123	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
	⑦投資等	188	120	68	8	112	0	0	6	2	60	155	143	12	1	2	0	⑥正味固定資産×投資等比率
	⑧貯蔵品	922	589	333	39	551	0	0	27	9	295	762	701	61	5	8	2	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
	⑨運転資本	2,704	2,088	616	105	1,196	1	1	74	26	1,117	480	458	22	13	18	5	(①設備管理運営費－(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース		55,927	36,099	19,828	2,368	32,964	15	15	1,649	555	18,151	44,426	40,901	3,525	327	461	130	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額		9,270	5,983	3,286	392	5,464	2	2	273	92	3,009	7,364	6,779	584	54	76	22	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課		695	524	171	29	481	0	0	21	7	277	568	397	171	2	3	1	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費		6,128	3,822	2,306	270	3,428	1	1	186	63	1,883	5,429	5,252	177	59	84	25	
⑭固定資産除却損		1,344	1,344	0	1	20	0	0	2	0	35	22	11	11	0	0	0	

区分	収容ルータ	収容ルータ (1Gbps)	収容ルータ (10Gbps)	中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ	新ゲートウェイルータ (再掲)	収容ルータ (SNI等)	SNIルータ (再掲) (IP電話)	網終端装置 (ISP)	伝送路	ダークファイバ 以外	ダークファイバ	セッション ボードコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
①設備管理運営費	26,080	15,937	10,143	1,214	13,306	5	5	786	269	10,640	9,954	9,395	559	260	369	107	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	42	20	22	2	27	0	0	1	0	14	35	32	3	0	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	2,203	1,053	1,150	109	1,406	1	1	66	22	758	1,850	1,689	161	25	35	10	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利益率
④利益対応税	941	450	491	47	600	0	0	28	9	324	790	721	69	11	15	4	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	29,266	17,460	11,806	1,372	15,339	6	6	881	300	11,736	12,629	11,837	792	296	420	121	①+②+③+④

	⑥正味固定資産	47,939	22,557	25,382	2,379	30,894	13	13	1,433	482	16,208	41,661	38,013	3,648	539	758	217	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
	⑦投資等	173	81	91	9	111	0	0	5	2	58	150	137	13	2	3	1	⑥正味固定資産×投資等比率
	⑧貯蔵品	849	399	449	42	547	0	0	25	9	287	737	673	65	10	13	4	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
	⑨運転資本	2,299	1,465	835	112	1,155	1	1	73	25	1,086	487	465	22	20	29	8	(①設備管理運営費－(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース		51,260	24,502	26,757	2,542	32,707	14	14	1,536	518	17,639	43,035	39,288	3,748	571	803	230	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額		8,496	4,061	4,435	421	5,421	2	2	255	86	2,924	7,133	6,512	621	95	133	38	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課		586	355	231	31	478	0	0	20	7	269	563	381	182	4	5	2	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費		6,027	2,791	3,236	283	3,570	1	1	184	63	1,657	5,469	5,282	187	97	135	41	
⑭固定資産除却損		1,072	1,072	0	1	21	0	0	2	0	28	23	11	12	0	0	0	

区分	収容ルータ	収容ルータ (1Gbps)	収容ルータ (10Gbps)	中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ	新ゲートウェイルータ (再掲)	収容ルータ (SNI等)	SNIルータ (再掲) (IP電話)	網終端装置 (ISP)	伝送路	ダークファイバ以外	ダークファイバ	セッション ボード コントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
①設備管理運営費	21,202	9,832	11,370	1,291	11,683	6	6	768	262	10,324	9,880	9,307	573	276	392	113	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	35	12	23	2	23	0	0	1	0	14	34	30	3	1	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	1,866	633	1,233	117	1,189	1	1	61	21	742	1,771	1,603	168	29	41	12	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利益率
④利益対応税	797	270	526	50	508	0	0	26	9	317	756	684	72	12	18	5	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	23,900	10,747	13,152	1,460	13,403	7	7	856	292	11,397	12,441	11,624	816	318	452	130	①+②+③+④

⑥正味固定資産	40,689	13,512	27,177	2,541	26,100	13	13	1,326	446	15,871	39,853	36,055	3,798	643	904	260	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
⑦投資等	146	49	98	9	94	0	0	5	2	57	143	130	14	2	3	1	⑥正味固定資産×投資等比率
⑧貯蔵品	720	239	481	45	462	0	0	23	8	281	705	638	67	11	16	5	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
⑨運転資本	1,844	916	928	121	999	1	1	71	24	1,060	499	477	22	21	30	8	(①設備管理運営費－⑫租税公課＋⑬減価償却費＋⑭固定資産除却損)×45.625日÷365日
⑩レートベース	43,399	14,716	28,684	2,716	27,655	14	14	1,425	480	17,269	41,200	37,300	3,901	677	953	274	⑥＋⑦＋⑧＋⑨
⑪有利子負債以外の負債の額	7,193	2,439	4,754	450	4,584	2	2	236	80	2,862	6,829	6,182	647	112	158	45	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	460	213	247	33	404	0	0	18	6	263	550	361	189	5	6	2	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	5,430	1,731	3,699	293	3,271	2	2	182	62	1,558	5,311	5,117	194	106	148	45	
⑭固定資産除却損	561	561	0	1	19	0	0	2	0	23	24	11	13	0	0	0	

2. 機能別原価の算定及び料金の設定

A. 端末系ルータ交換機能

(1) 1Gbit/sタイプのうち、(2)以外

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	84,113	(別紙1)の2の(1)のb
②装置数（装置）	15,146	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(1)
③料金（円/装置・月）	462,790	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 1Gbit/sタイプのうち、専らIP電話の提供の用に供するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	1,300	1の5/SNIルータ（IP電話） ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②装置数（装置）	221	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(4)
③料金（円/装置・月）	490,196	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(3) 10Gbit/sタイプ

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	38,041	(別紙1)の2の(1)のc
②装置数（装置）	3,182	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)
③料金（円/装置・月）	996,255	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

B. 一般収容局ルータ優先パケット識別機能（1Gbit/sタイプ・10Gbit/sタイプ）

(1) SIPサーバを用いて制御するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	1,419	(別紙1)の2の(2)のb
②ひかり電話施設数（千ch）	39,329	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの5のa
③料金（円/ch・月）	3.01	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 優先クラスを識別するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	3,6547	(別紙1)の2の(2)のa
②契約数（千契約）	106	IX. 料金算定に用いた設備数及びトラヒックの3
③料金（円/契約・月）	2.87	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(3) 上記以外

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	2,621	(別紙1)の2の(2)のc
②装置数（装置）	18,328	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(1)+(2)
③料金（円/装置・月）	11,917	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

C. 随門系ルータ交換機能

(1) 第5条（標準的な接続箇所）第1項の表中第7欄で接続するものうちPPPoE方式で接続する場合

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	52,863	1の5/網終端装置（ISP） ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②装置数（装置）	12,208	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(3)
③料金（円/装置・月）	360,849	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 第5条（標準的な接続箇所）第1項の表中第7—2欄で接続するものであって当社中間配線盤又は当社が指定する装置で接続する場合

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	27	1の5/ゲートウェイルータ（新ゲートウェイルータ） ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②通信時間（千時間）	967,361	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑤÷⑥
③料金（円/秒）	0.000007753	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

D. SIPサーバ機能

(1) (2) 以外の場合

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	19,825	(別紙2)の2のa
②通信回数（千回）	42,807,528	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑦
③料金（円/回）	0.46312	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 専ら光IP電話の提供の用に供するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	40,683	(別紙2)の2のb
②通信回数（千回）	32,793,159	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の①+⑩
③料金（円/回）	1,24059	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

E. SIP信号変換機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	1,026	1の5/セッションボーダコントローラ ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②通信回数（千回）	33,979,067	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑧
③料金（円/回）	0.030195	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

F. 番号管理機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	1,462	1の5/ENUMサーバ ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②通信回数（千回）	42,807,528	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑦
③料金（円/回）	0.034153	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

G. ドメイン名管理機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	421	1の5/IP電話用DNSサーバ ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②通信回数（千回）	24,177,173	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑨
③料金（円/回）	0.017413	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

H. 一般中継系ルータ交換伝送機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度				備考
	中継ルータ	伝送路			
		ダークファイバ以外	ダークファイバ		
①原価（百万円）	5,575	49,945	3,236	58,756	1の5/中継ルータ、伝送路 ※2024年度-2028年度の合計値（2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの）
②通信量（Mbit）	2,187,655,276,846,900	—	—	—	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のウのg
	—	2,266,675,272,508,900	—	—	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のエのg
③料金(円/Mbit)	0.000002548	0.000022034	0.000001428	0.000026010	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

a. ベストエフォートクラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度				備考
	(ア)中継ルータ	伝送路			
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ		
料金(円/Mbit)	0.000002548	0.000022034	0.000001428	0.000026010	Hの③×(別紙6)の5のベストエフォート

b. 優先クラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度				備考
	(ア)中継ルータ	伝送路			
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ		
料金(円/Mbit)	0.000002963	0.000025626	0.000001661	0.000030250	Hの③×(別紙6)の5の優先クラス

c. 高優先クラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度				備考
	(ア)中継ルータ	伝送路			
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ		
料金(円/Mbit)	0.000003205	0.000027719	0.000001796	0.000032720	Hの③×(別紙6)の5の高優先クラス

d. 最優先クラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度				備考
	(ア)中継ルータ	伝送路			
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ		
料金(円/Mbit)	0.000003221	0.000027851	0.000001805	0.000032877	Hの③×(別紙6)の5の最優先クラス

C. 関門系ルータ交換機能

(4) 第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するもののうちIPoE方式で接続する場合

(7) 東京都内の設置場所において接続する場合

①接続対象地域を東日本全域とするもの

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用 (単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	557,337	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	110,684	
③他人資本費用	244	
④自己資本費用	735	
⑤利益対応税	354	
⑥合計	112,017	(②+③+④+⑤) × (1 + XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額 (単位: 千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	713	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入 (単位: 千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	111,749	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額 (単位: 千円)

区分	調整額	備考
①調整額	981	((a)の⑥+(b)の①) × (1 + XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価 (単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	244,298	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	42,406	
③他人資本費用	111	
④自己資本費用	334	
⑤利益対応税	162	
⑥調整額	981	(d)の①より
⑦合計	43,994	(②+③+④+⑤+⑥) × (1 + XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位: 円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	8	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	458,271	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

②接続対象地域を東京都内とするもの

(1)原価の算定

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	542,609	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	124,812	
③他人資本費用	237	
④自己資本費用	715	
⑤利益対応税	345	
⑥合計	126,109	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	金額等	備考
①ポート数(ポート)	62	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	169,501	(1)の⑥÷(2)の①÷12ヶ月

(イ)千葉県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	296,895	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	52,392	
③他人資本費用	126	
④自己資本費用	378	
⑤利益対応税	183	
⑥合計	53,079	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	245	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	52,854	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	470	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	296,895	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	52,392	
③他人資本費用	126	
④自己資本費用	378	
⑤利益対応税	183	
⑥調整額	470	(d)の①より
⑦合計	53,549	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	23	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	194,018	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(ウ)埼玉県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	322,829	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	58,049	
③他人資本費用	137	
④自己資本費用	412	
⑤利益対応税	199	
⑥合計	58,797	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	258	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	58,537	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	518	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	325,199	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	58,566	
③他人資本費用	138	
④自己資本費用	415	
⑤利益対応税	200	
⑥調整額	518	(d)の①より
⑦合計	59,837	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	28	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	178,086	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(エ) 神奈川県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用 (単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	334,702	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	60,638	
③他人資本費用	142	
④自己資本費用	427	
⑤利益対応税	206	
⑥合計	61,413	(②+③+④+⑤) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額 (単位: 千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	268	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入 (単位: 千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	61,141	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額 (単位: 千円)

区分	調整額	備考
①調整額	540	((a)の⑥+(b)の①) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価 (単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	364,193	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	67,071	
③他人資本費用	154	
④自己資本費用	465	
⑤利益対応税	225	
⑥調整額	540	(d)の①より
⑦合計	68,455	(②+③+④+⑤+⑥) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位: 円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	34	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	167,782	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(オ)茨城県内及び栃木県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	221,541	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	35,957	
③他人資本費用	94	
④自己資本費用	282	
⑤利益対応税	136	
⑥合計	36,469	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	122	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	36,259	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	332	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	223,886	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	36,468	
③他人資本費用	95	
④自己資本費用	285	
⑤利益対応税	138	
⑥調整額	332	(d)の①より
⑦合計	37,318	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	5	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	621,967	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(カ) 北海道内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用 (単位: 千円)

区分	金額等	備考
①取得固定資産価額	282,436	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	52,964	
③他人資本費用	127	
④自己資本費用	383	
⑤利益対応税	185	
⑥合計	53,659	(②+③+④+⑤) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額 (単位: 千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	185	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入 (単位: 千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	53,368	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額 (単位: 千円)

区分	調整額	備考
①調整額	476	((a)の⑥+(b)の①) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用する貸倒率) − (c)の①

(e) 原価 (単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	292,445	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	51,497	
③他人資本費用	124	
④自己資本費用	373	
⑤利益対応税	180	
⑥調整額	476	(d)の①より
⑦合計	52,650	(②+③+④+⑤+⑥) × (1 + XⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位: 円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	22	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	199,432	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(キ)宮城県内及び山形県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	金額等	備考
①取得固定資産価額	325,597	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	62,378	
③他人資本費用	146	
④自己資本費用	439	
⑤利益対応税	212	
⑥合計	63,175	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	242	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	62,860	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	557	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	330,338	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	59,762	
③他人資本費用	140	
④自己資本費用	422	
⑤利益対応税	204	
⑥調整額	557	(d)の①より
⑦合計	61,085	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	31	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	164,207	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(ク)群馬県内及び山梨県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	金額等	備考
①取得固定資産価額	288,048	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	54,188	
③他人資本費用	130	
④自己資本費用	391	
⑤利益対応税	189	
⑥合計	54,898	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	125	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	54,534	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	489	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	295,158	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	52,089	
③他人資本費用	125	
④自己資本費用	376	
⑤利益対応税	182	
⑥調整額	489	(d)の①より
⑦合計	53,261	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	24	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	184,934	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(ケ)茨城県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	金額等	備考
①取得固定資産価額	218,272	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	37,244	
③他人資本費用	100	
④自己資本費用	301	
⑤利益対応税	145	
⑥合計	37,790	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	37,431	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	359	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	218,272	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	37,244	
③他人資本費用	100	
④自己資本費用	301	
⑤利益対応税	145	
⑥調整額	359	(d)の①より
⑦合計	38,149	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	10	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	317,908	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(コ)栃木県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用 (単位:千円)

区分	金額等	備考
①取得固定資産価額	195,049	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	32,179	
③他人資本費用	90	
④自己資本費用	271	
⑤利益対応税	131	
⑥合計	32,671	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入 (単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	32,355	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額 (単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	316	((a)の⑥+(b)の①)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)−(c)の①

(e)原価 (単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	195,049	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	32,179	
③他人資本費用	90	
④自己資本費用	271	
⑤利益対応税	131	
⑥調整額	316	(d)の①より
⑦合計	32,987	(②+③+④+⑤+⑥)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①ポート数(ポート)	7	2025年4月1日時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	392,702	(1)の(e)⑦÷(2)の①÷12ヶ月

(サ)群馬県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	205,754	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	37,865	
③他人資本費用	94	
④自己資本費用	283	
⑤利益対応税	137	
⑥合計	38,379	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	金額等	備考
①ポート数(ポート)	3	2025年4月末時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	1,066,083	(1)の⑥÷(2)の①÷12ヶ月

(シ)新潟県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	204,220	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	37,531	
③他人資本費用	93	
④自己資本費用	281	
⑤利益対応税	136	
⑥合計	38,041	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	金額等	備考
①ポート数(ポート)	2	2025年4月末時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	1,585,042	(1)の⑥÷(2)の①÷12ヶ月

(ス)宮城県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	207,289	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年5月末時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	38,200	
③他人資本費用	95	
④自己資本費用	285	
⑤利益対応税	138	
⑥合計	38,718	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	金額等	備考
①ポート数(ポート)	4	2025年5月末時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	806,625	(1)の⑥÷(2)の①÷12ヶ月

(セ)福島県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	204,220	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定 ①取得固定資産額について、2025年5月末時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
②設備管理運営費	37,531	
③他人資本費用	93	
④自己資本費用	281	
⑤利益対応税	136	
⑥合計	38,041	(②+③+④+⑤)×(1+ⅩⅣ. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	金額等	備考
①ポート数(ポート)	2	2025年5月末時点のポート数
②接続料金(ポート・月額)	1,585,042	(1)の⑥÷(2)の①÷12ヶ月

3. 前期料金適用期間における乖離額

A. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	17,710	16,841	▲869	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	202,807	192,856	▲9,951	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの3のaの③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	202,807	217,504	14,697	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	24,648	24,648	③-②

b. (再掲)端末系ルータ交換機能(1Gbit/sタイプ)

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	17,710	16,841	▲869	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	86,424	82,183	▲4,241	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のAの(1)の③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	86,424	90,183	3,759	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	8,000	8,000	③-②

c. (再掲)一般収容局ルータ優先パケット識別機能(1Gbit/sタイプ)※SIPサーバを用いて制御するもの及び優先クラスを識別するものを除く

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	17,710	16,841	▲869	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	1,757	1,671	▲86	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のBの(3)の③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	1,757	1,907	150	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	236	236	③-②

d. (再掲)その他

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	-	-	-	
②収入(百万円)	114,626	109,002	▲5,624	a-b-c
③原価(百万円)	114,626	125,414	10,788	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	16,412	16,412	③-②

e. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)の原価に加算するその他乖離額の分計

	-	-	乖離額	備考
乖離額(百万円)	-	-	16,412	dの④
①収容局接続機能(1Gbit/sタイプ)	-	-	11,688	①×(5のAの⑤)÷(5のAの⑤+5のBの⑤))
②収容局接続機能(1OGbit/sタイプ)	-	-	4,724	①×(5のBの⑤)÷(5のAの⑤+5のBの⑤))

B. 端末系ルータ交換機能(10Gbit/sタイプ)

	2020年度-2024年度第3四半期の予測	2020年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	215	246	31	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	1,819	2,082	263	2020年度網使用料算定根拠(10Gbit/sインターフェースに対応する新たな設備に関する接続料)のⅡのAの(1)の③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	1,819	4,158	2,339	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	2,076	2,076	③-②

C. 一般収容局ルータ優先パケット識別機能(10Gbit/sタイプ)※SIPサーバを用いて制御するもの及び優先クラスを識別するものを除く

	2020年度-2024年度第3四半期の予測	2020年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	215	246	31	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	61	70	9	2020年度網使用料算定根拠(10Gbit/sインターフェースに対応する新たな設備に関する接続料)のⅡのAの(2)のbの③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	61	88	27	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	18	18	③-②

D. 光IP電話接続機能(県内NGN)の回数比例

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(百万回)	27,684	26,607	▲1,076	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	23,094	22,196	▲898	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの3のbの⑥×①
③原価(百万円)	23,094	27,241	4,147	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	5,045	5,045	③-②

E. 光IP電話接続機能(県内NGN)の時間比例

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(百万時間)	820	806	▲14	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	5,863	5,765	▲98	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの3のbの⑥×3600秒×①
③原価(百万円)	5,863	5,856	▲7	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	91	91	③-②

F. 一般収容局ルータ優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要（契約数）	105,475	58,161	▲47,314	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入（百万円）	3.0751	1.6960	▲1.3791	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のBの(2)の③×①×12ヶ月
③原価（百万円）	3.0751	1.7529	▲1.3222	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額（百万円）	0.0000	0.0569	0.0569	③-②

G-1. 一般中継系ルータ交換伝送機能

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要（Mbit）	-	-	-	
中継ルータ	834,634,674	1,240,482,315	405,847,640	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ以外	920,323,086	1,316,973,027	396,649,942	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ	920,323,086	1,316,973,027	396,649,942	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入（百万円）	44,987	64,903	19,916	
中継ルータ	9,539	14,177	4,638	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のIの③×①
ダークファイバ以外	33,642	48,142	14,500	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のIの③×①
ダークファイバ	1,806	2,584	778	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のIの③×①
③原価（百万円）	44,987	54,780	9,793	
中継ルータ	9,539	7,821	▲1,718	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ以外	33,642	44,587	10,945	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ	1,806	2,372	566	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額（百万円）	0	▲10,123	▲10,123	
a.中継ルータ	0	▲6,356	▲6,356	③-②
b.ダークファイバ以外	0	▲3,555	▲3,555	③-②
c.ダークファイバ	0	▲212	▲212	③-②

G-2. 一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラスのもの)の乖離額単金

	-	-	乖離額単金	備考
①ベストエフォート(円/Mbit)	-	-	▲0.000004567	
a.中継ルータ	-	-	▲0.000002905	G-1の④のa÷Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のウのg
b.ダークファイバ以外	-	-	▲0.000001568	G-1の④のb÷Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のエのg
c.ダークファイバ	-	-	▲0.000000094	G-1の④のc÷Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のエのg
②優先クラス(円/Mbit)	-	-	▲0.000005312	
中継ルータ	-	-	▲0.000003379	①のa×(別紙6)の5の優先クラス
ダークファイバ以外	-	-	▲0.000001824	①のb×(別紙6)の5の優先クラス
ダークファイバ	-	-	▲0.000000109	①のc×(別紙6)の5の優先クラス

4. その他の乖離額等

A. 特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能

a.特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(ATMインタフェースにより符号伝送が可能なもの)

	2021年度-2023年度第3四半期	備考
①需要 (装置、ポート)	8,444	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
②収入 (百万円)	6,156	各年度の実績需要に各年度の適用網使用料を乗じたもの
③原価 (百万円)	10,316	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
④適用接続料算定時における乖離額 (百万円)	▲4,346	2021年度-2022年度の乖離額を合計したもの
⑤乖離額 (百万円)	▲186	③+④-②

b. 特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(ISDN一次群速度ユーザ・網インタフェースにより符号伝送が可能なもの)

	2021年度-2023年度第3四半期	備考
①需要 (装置、ポート)	34,758	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
②収入 (百万円)	1,521	各年度の実績需要に各年度の適用網使用料を乗じたもの
③原価 (百万円)	2,091	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
④適用接続料算定時における乖離額 (百万円)	▲63	2021年度-2022年度の乖離額を合計したもの
⑤乖離額 (百万円)	507	③+④-②

c. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)の原価に加算する乖離額の分計

(単位:百万円)

	2021年度-2023年度第3四半期	備考
①乖離額	321	aの⑤+bの⑤
②収容局接続機能(1Gbit/sタイプ)	229	①×(5-1のAの⑤÷(5-1のAの⑤+5-1のBの⑤))
③収容局接続機能(10Gbit/sタイプ)	92	①×(5-1のBの⑤÷(5-1のAの⑤+5-1のBの⑤))

B. PSTNのIP網への移行に伴い不要となる設備

a. 不要となる設備の除却損および撤去費

(単位:百万円)

	2024年度第4四半期-2028年度の予測	備考
①変換装置	75	設備撤去計画等に基づき予測
②ゲートウェイルータ(中継局接続)	12	設備撤去計画等に基づき予測
③中継交換機・相互接続交換機	526	設備撤去計画等に基づき予測
④信号交換機	10	設備撤去計画等に基づき予測
⑤合計	623	

b. 利用部門が負担する網内呼相当を控除したもの

(単位:百万円)

	2024年度第4四半期-2028年度の予測	備考
①変換装置	75	aの①
②ゲートウェイルータ(中継局接続)	12	aの②
③中継交換機・相互接続交換機	429	aの③×((Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑧+⑨)/⑦)
④信号交換機	8	aの④×((Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩+⑪)/⑦)
⑤合計	524	

c. 光IP電話接続機能(NGN県内)およびメタルIP電話接続機能(NGN県内)に分計したもの

(単位:百万円)

	2024年度第4四半期-2028年度の予測	備考
光IP電話接続機能(県内NGN)	394	
①回数比例	6	bの④×((Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の①+⑩)/⑦)
②時間比例	388	(bの①+②+③)×((Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の①+⑧)/⑦)
メタルIP電話接続機能(県内NGN)	130	
③回数比例	2	bの④×((Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の②+⑪)/⑦)
④時間比例	128	(bの①+②+③)×((Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の②+⑨)/⑦)
⑤合計	524	

5-1. その他の機能の原価の算定及び料金の設定(組み合わせ適用料金)

A. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能 (単位:百万円)

機能		2024年度第4四半期-2028年度	備考
①端末系ルータ交換機能		84,113	2のAの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(1)×12ヶ月
②優先パケット識別機能		1,805	(別紙1)の2の(2)のd
③一般中継系ルータ交換伝送機能	中継ルータ	3,942	2のHのaの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのa×(別紙3)の2のaのトラヒック比
	ダークファイバ以外	34,089	2のHのaの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のaのトラヒック比
	ダークファイバ	2,209	2のHのaの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のaのトラヒック比
④関門系ルータ交換機能 (1)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するもののうちPPPoE方式で接続する場合		39,100	2のCの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)×12ヶ月×(別紙3)の2のaのトラヒック比
⑤合計		165,258	

B. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(10Gbit/sタイプ)※収容局接続機能 (単位:百万円)

機能		2024年度第4四半期-2028年度	備考
①端末系ルータ交換機能		38,041	2のAの(3)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)×12ヶ月
②優先パケット識別機能		816	(別紙1)の2の(2)のe
③一般中継系ルータ交換伝送機能	中継ルータ	1,388	2のHのaの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのa×(別紙3)の2のbのトラヒック比
	ダークファイバ以外	11,999	2のHのaの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のbのトラヒック比
	ダークファイバ	778	2のHのaの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のbのトラヒック比
④関門系ルータ交換機能 (1)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するもののうちPPPoE方式で接続する場合		13,763	2のCの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)×12ヶ月×(別紙3)の2のbのトラヒック比
⑤合計		66,785	

C. 光IP電話接続機能(県内NGN) (単位:百万円)

機能		2024年度第4四半期-2028年度	備考
①端末系ルータ交換機能		882	2のAの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(4)×12ヶ月×(別紙4)の2のa
②優先パケット識別機能		964	2のBの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの5のa×12ヶ月×(別紙4)の2のa
③一般中継系ルータ交換伝送機能(高優先クラスのもの)	中継ルータ	0	2のHのcの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのb
	ダークファイバ以外	0	2のHのcの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのb
	ダークファイバ	0	2のHのcの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのb
④一般中継系ルータ交換伝送機能(最優先クラスのもの)	中継ルータ	3	2のHのdの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのc
	ダークファイバ以外	23	2のHのdの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのc
	ダークファイバ	1	2のHのdの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのc
⑤関門系ルータ交換機能 (2)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7-2欄で接続するものであって当社中間配線盤又は当社が指定する装置で接続する場合		20	2のCの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑤
⑥SIPサーバ機能(1)(2)以外の場合		12,040	2のDの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩
⑦SIPサーバ機能(2)専ら光IP電話の提供の用に供するもの		32,253	2のDの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩
⑧SIP信号変換機能		785	2のEの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩
⑨番号管理機能		888	2のFの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩
⑩ドメイン名管理機能		304	2のGの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑪
⑪合計		48,163	

D. メタルIP電話接続機能(県内NGN) (単位:百万円)

機能		2024年度第4四半期-2028年度	備考
①一般中継系ルータ交換伝送機能(最優先クラスのもの)	中継ルータ	1	2のHのdの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのd
	ダークファイバ以外	8	2のHのdの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのd
	ダークファイバ	1	2のHのdの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのd
②関門系ルータ交換機能 (2)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7-2欄で接続するものであって当社中間配線盤又は当社が指定する装置で接続する場合		7	2のCの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑥
③SIPサーバ機能(1)(2)以外の場合		3,696	2のDの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫
④SIP信号変換機能		241	2のEの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫
⑤番号管理機能		273	2のFの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫
⑥ドメイン名管理機能		117	2のGの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑬
⑦合計		4,344	

a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価 (百万円)	165,258	Aの⑤
②乖離額等 (百万円)	20,153	3のAのbの④+3のAのcの④+3のAのeの①+4のAのcの②
③装置数 (装置)	15,146	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(1)
④料金 (円/装置・月)	1,020,132	(①+②)÷③÷12ヶ月

b. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(10Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	66,785	Bの⑤
②乖離額等（百万円）	6,910	3のAのeの②+3のBの④+3のCの④+4のAのcの③
③装置数（装置）	3,182	Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)
④料金（円/装置・月）	1,929,997	(①+②)÷③÷12ヶ月

c. 光IP電話接続機能(県内NGN)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①回数比例コスト（百万円）	46,270	Cの⑥+⑦+⑧+⑨+⑩
②回数比例コストの乖離額等（百万円）	5,051	3のDの④+4のBのcの①
③時間比例コスト（百万円）	1,893	Cの①+②+③+④+⑤
④時間比例コストの乖離額等（百万円）	479	3のEの④+4のBのcの②
⑤通信回数(千回)	25,997,936	Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩
⑥通信時間(千時間)	722,213	Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑧
⑦1回あたり(円/回)	1.97404	(①+②)÷⑤
⑧1秒あたり(円/秒)	0.0009123	(③+④)÷⑥

d. メタルIP電話接続機能(県内NGN)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①回数比例コスト（百万円）	4,327	Dの③+④+⑤+⑥
②回数比例コストの乖離額等（百万円）	2	4のBのcの③
③時間比例コスト（百万円）	17	Dの①+②
④時間比例コストの乖離額等（百万円）	128	4のBのcの④
⑤通信回数(千回)	7,981,131	Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫
⑥通信時間(千時間)	245,148	Ⅸ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑨
⑦1回あたり(円/回)	0.54240	(①+②)÷⑤
⑧1秒あたり(円/秒)	0.0001643	(③+④)÷⑥

5-2. その他の機能の原価の算定及び料金の設定(法定機能単金)

A. 一般収容局ルータ優先/パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価（百万円）	3.6547	2のBの(2)の①
②乖離額（百万円）	0.0569	3のFの④
③装置数（千契約）	106	2のBの(2)の②
④料金（円/契約・月）	2.92	(①+②)÷③÷12ヶ月

B. 一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラスのもの)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①乖離額反映前単金(円/Mbit)	0.000030250	2のHのb
②乖離額単金(円/Mbit)	▲0.000005312	3のG-2の②
③料金(円/Mbit)	0.000024938	①+②

Ⅲ. 投資等比率及び貯蔵品比率の算定

(1) 投資等比率の算定

(単位：百万円)

区分	首末平均残高
指定設備管理部門の電気通信事業固定資産	2,221,153 (A)
指定設備管理部門における投資等(収益の見込まれないもの) (※)	7,999 (B)
投資等比率 (B ÷ A)	0.0036 (C)

※ 投資等は、収益性が見込まれない出資金、保証金・負担金等である。

(2) 貯蔵品比率の算定

(単位：百万円)

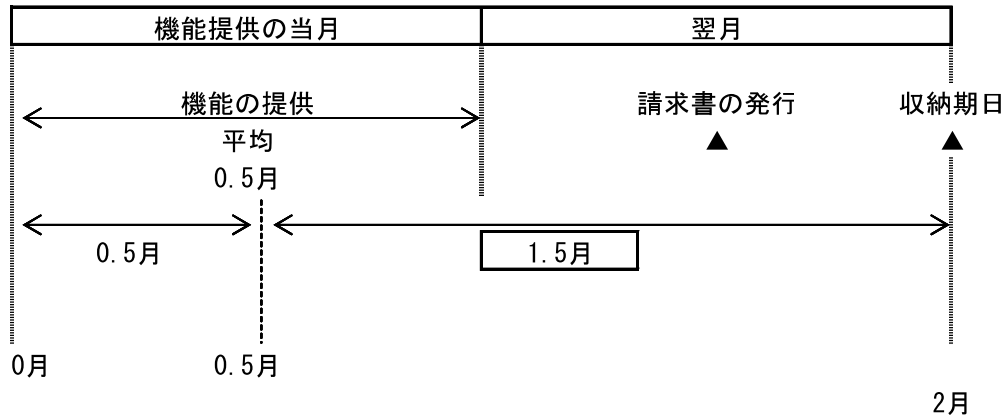
区分	首末平均残高
電気通信事業固定資産	2,627,887 (A)
貯蔵品 (※)	46,526 (B)
貯蔵品比率 (B ÷ A)	0.0177 (C)

※ 貯蔵品は、現用に供されるまでの間保管されている電気通信設備用品（新品）であり、金額は月末在庫額の年平均値である。

(注) なお繰延資産比率については、繰延資産が発生していないので無しとする。

Ⅳ. 接続料収納までの平均的な日数の算定

(1) 機能の提供と接続料の収納までの日程



(2) 機能の提供から当該機能に係る接続料の収納までの平均的な日数の算定

機能の提供から当該機能に係る接続料の収納までの平均的な日数

$$= \frac{1.5 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} \times 365 \text{ 日} = \boxed{45.625 \text{ 日}}$$

(1) より

V. 資本構成比率の算定

(1) 資本の状況

(単位：百万円)

B／S (2023年度) 稼働ベース			レートベース		(資本構成)		
電気通信事業 固定資産 2,627,887		有利子負債 247,062 (0.072)	④圧縮後の資本構成比 →	2023年度稼働 電気通信事業固定資産 2,627,887		有利子負債 247,062 (0.089)	↑ 負債 ↓
		有利子負債以外の負債 991,755 (0.289)				有利子負債以外の負債 459,022 (0.165)	
流動資産等 (繰延税金資産除く) 678,836		②流動資産の 圧縮 ▲532,733	←				↑ 資本 ↓
繰延税金資産 123,809							
自己資本 2,191,715 (0.639)		①流動資産の理論値と 実績の差 146,103-678,836=▲532,733	146,103	貯蔵品(月平均) 46,526 投資等 9,461 運転資本 90,116		自己資本 2,067,906 (0.745)	
③自己資本の圧縮 ▲123,809							
計	3,430,532			計	2,773,990	計	2,773,990

(2) 他人資本比率

他人資本比率 =
$$\frac{(247,062 + 459,022)}{\text{負債}} \div \frac{2,773,990}{\text{負債資本合計}} = \boxed{0.255}$$

(3) 有利子負債が負債の合計に占める比率

有利子負債が負債の合計に占める比率 =
$$\frac{247,062}{\text{有利子負債}} \div \frac{(247,062 + 459,022)}{\text{負債の合計}} = \boxed{0.350}$$

(4) 有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合

有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合 =
$$1 - \frac{0.350}{\text{有利子負債が負債の合計に占める比率}} = \boxed{0.650}$$

(5) 自己資本比率

自己資本比率 =
$$1 - \frac{0.255}{\text{他人資本比率}} = \boxed{0.745}$$

VI. 他人資本利子率の算定

(1) 有利子負債に対する利子率

有利子負債の額に対する他人資本費用の2023年度実績とした。

有利子負債に対する利子率 = 0.53%

(単位：％)

年度 区分	2023
他人資本利子率	0.53

(注)借入金の平均利子率である。

(2) 有利子負債以外の負債の利子相当率

国債利回りの過去5年平均とした。

有利子負債以外の負債の利子相当率 = 0.21%

(単位：％)

年度 区分	2019	2020	2021	2022	2023	平均
他人資本利子率	0.00	0.04	0.09	0.30	0.62	0.21

(注)国債利回りについては、財務省HP掲載の「国債等関係諸資料」のうち「国債の入札結果」より、10年債の平均利回り（単利）の各年度平均値を使用する。
なお、2019年度については、年間の平均値がマイナスの値となるため、「0.00%」として見込んだ。

(3) 他人資本利子率

他人資本利子率 = $0.53\% \times 0.35 + 0.21\% \times 0.65 =$ 0.32%

(有利子負債に対する利子率×有利子負債比率+国債利回り×有利子負債以外の負債の比率)

VII. 自己資本利益率の算定

1. CAPM的手法による自己資本利益率

年度		(単位：%)							
区分		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
β 値の適用		○	○	○	○	○	○	○	○
リスクフリーレート（注1）（注3）		0.09	0.30	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62
リスクプレミアム（注2）（注3）		8.80	8.70	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10
選択される自己資本利益率	β = 0.566 (注4)	5.07	5.22	5.77	5.77	5.77	5.77	5.77	5.77
平均（注5）				5.35	5.59	5.77	5.77	5.77	5.77

2. 主要企業の過去5年間の自己資本利益率

年度		(単位：%)									
区分		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
①リスクプレミアム（注2）（注3）		—	—	8.80	8.70	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10
②リスクフリーレート（注3）		—	—	0.09	0.30	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62
③主要企業の自己資本利益率（①+②）（注6）		7.15	5.04	8.89	9.00	9.72	9.72	9.72	9.72	9.72	9.72
平均（5年間）						7.96	8.47	9.41	9.58	9.72	9.72

3. 料金算定に採用した自己資本利益率

上記1、2を勘案し、低い方の1のCAPM的手法による自己資本利益率を採用する。（注7）							
		2023	2024	2025	2026	2027	2028
自己資本利益率		5.35%	5.59%	5.77%	5.77%	5.77%	5.77%

- （注1）
 指定設備全体の平均的な耐用年数に着目し、耐用年数が10年超であることから国債10年ものの利回りを使用する。国債利回りについては、財務省HP掲載の「国債等関係諸資料」のうち「国債の入札結果」より、10年債の平均利回り（単利）の各年度平均値を使用する。
- （注2）
 2021年度、2022年度、2023年度のリスクプレミアムについては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の「Japanese Equity Risk Premia Report（各年3月末版）」の「Japan Long-Horizon Equity Risk Premia（計測期間：1952年から各基礎事業年度の3月末）」を使用する。（Copyright © 2024 Ibbotson Associates Japan, Inc. イボットソンの事前の書面による承諾のない利用、複製等は、全部または一部を問わず、損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。）
- （注3）
 2024年度以降のリスクプレミアム及びリスクフリーレートについては2023年度の実績値と同じと見込んだ。
- （注4）
 β 値については、「接続料の算定等に関する研究会」における議論を踏まえ、0.566を使用する。
- （注5）
 算定期間については、3年間とした。
- （注6）
 2020年度以前については、NEEDS（日本経済新聞社デジタル事業 情報サービスユニットの総合経済データバンク）の財務データより、「日経経営指標」と同様に、全国4証券取引所（東京（マザーズを含まない）、名古屋、札幌、福岡）に上場しており、7期連続で決算データの取得が可能な単体決算開示企業（金融業および外国企業を除く）の全業種平均値（単体指標）を使用する。
- （注7）
 接続料規則第12条第3項では「いずれか低い方を上限とした合理的な値」と記載があるが、上限値を採用した理由は下記の通り。
 ○自己資本利益率については、設備投資に係る調達コストを適正な範囲で賄えるような水準とすることを基本に、事業リスクと安定性を考慮した客観的な指標を用いて設定するものと認識している。
 ○当社としては、必要な設備を構築してサービス展開を行う自己設置事業者として他の自己設置事業者と激しい設備ベースでの競争を展開する中では、将来の事業リスクについて予測することが困難である以上、設備投資に係る調達コストに見合うリターン、すなわち投資インセンティブが働くような適切なリターンを見込むことが、民間企業として事業運営を安定的に行っていくためには必要であると考ええる。
 ○このように「投資インセンティブが働くような適切なリターン」を見込んだ自己資本利益率を設定する上では、「主要企業の自己資本利益率」の水準が一つの客観的な指標となると考えるが、接続料規則において、接続料算定上用いる自己資本利益率が主要企業の平均自己資本利益率をCAPM的手法により圧縮した値を上限値とするとされていることを踏まえると、最低限、上限値を採用することが調達コストを賄うために合理的な判断であると認識している。

VII. 利益対応税率の算定 (2025年度適用のもの)

利益対応税としては、事業税、特別法人事業税、法人税、道府県民税、市町村民税、地方法人税を見込んだ。

$$\text{利益対応税率} = \boxed{42.35\%}$$

(算定方法)

1. 税引前利益に対する率の算定

①税引前利益を y 、税額を x_n とする。

②事業税実効税率

事業税額を x_1 、特別法人事業税を x_2 とする。 ($x_2 = x_1 \times 2.600$)

$$x_1 = (y - (x_1 + x_2)) \times 0.010$$

$$\begin{aligned} &= (y - (x_1 + x_1 \times 2.600)) \times 0.010 & \Rightarrow & x_1 = \frac{0.010}{1+0.036} \times y \\ & & & = \underline{0.0097 y} \end{aligned}$$

③特別法人事業税実効税率

特別法人事業税を x_2 とする。

$$\begin{aligned} x_2 &= x_1 \times 2.600 \\ &= 0.0097 y \times 2.600 \\ &= \underline{0.0252 y} \end{aligned}$$

④法人税実効税率

法人税額を x_3 とする。

$$\begin{aligned} x_3 &= \text{事業税及び特別法人事業税引後利益} \times 0.232 \\ &= (y - (0.0097 y + 0.0252 y)) \times 0.232 \\ &= \underline{0.2239 y} \end{aligned}$$

⑤道府県民税実効税率

道府県民税額を x_4 とする。

$$\begin{aligned} x_4 &= \text{法人税額} \times 0.010 \\ &= 0.2239 y \times 0.010 \\ &= \underline{0.0022 y} \end{aligned}$$

⑥市町村民税実効税率

市町村民税額を x_5 とする。

$$\begin{aligned} x_5 &= \text{法人税額} \times 0.060 \\ &= 0.2239 y \times 0.060 \\ &= \underline{0.0134 y} \end{aligned}$$

⑦地方法人税実効税率

地方法人税額を x_6 とする。

$$\begin{aligned} x_6 &= \text{法人税額} \times 0.103 \\ &= 0.2239 y \times 0.103 \\ &= \underline{0.0231 y} \end{aligned}$$

⑧税引前利益に対する利益対応税率

利益対応税額を x とする。

$$\begin{aligned} x &= x_1 + x_2 + x_3 + x_4 + x_5 + x_6 \\ &= \underline{0.2975 y} \end{aligned}$$

2. 税引後利益に対する率の算定

税引後利益を z 、税引前利益を y 、税額を x とする。

$$\text{利益対応税率} = \frac{x}{z} = \frac{0.2975 y}{(1-0.2975) y} = \frac{0.2975 y}{0.7025 y} = 0.4235$$

税引前利益	y
利益対応税	$x = 0.2975 y$
税引後利益	$z = (1-0.2975) y$

VIII. 利益対応税率の算定 (乖離額算定時の原価算定に用いる2023年度適用のもの)

利益対応税としては、事業税、特別法人事業税、法人税、道府県民税、市町村民税、地方法人税を見込んだ。

$$\text{利益対応税率} = \boxed{42.35\%}$$

(算定方法)

1. 税引前利益に対する率の算定

①税引前利益を y 、税額を x_n とする。

②事業税実効税率

事業税額を x_1 、特別法人事業税を x_2 とする。 ($x_2 = x_1 \times 2.600$)

$$x_1 = (y - (x_1 + x_2)) \times 0.010$$

$$= (y - (x_1 + x_1 \times 2.600)) \times 0.010 \quad \Rightarrow \quad x_1 = \frac{0.010}{1+0.036} \times y$$

$$= \underline{0.0097 y}$$

③特別法人事業税実効税率

特別法人事業税を x_2 とする。

$$x_2 = x_1 \times 2.600$$

$$= 0.0097 y \times 2.600$$

$$= \underline{0.0252 y}$$

④法人税実効税率

法人税額を x_3 とする。

$$x_3 = \text{事業税及び特別法人事業税引後利益} \times 0.232$$

$$= (y - (0.0097 y + 0.0252 y)) \times 0.232$$

$$= \underline{0.2239 y}$$

⑤道府県民税実効税率

道府県民税額を x_4 とする。

$$x_4 = \text{法人税額} \times 0.010$$

$$= 0.2239 y \times 0.010$$

$$= \underline{0.0022 y}$$

⑥市町村民税実効税率

市町村民税額を x_5 とする。

$$x_5 = \text{法人税額} \times 0.060$$

$$= 0.2239 y \times 0.060$$

$$= \underline{0.0134 y}$$

⑦地方法人税実効税率

地方法人税額を x_6 とする。

$$x_6 = \text{法人税額} \times 0.103$$

$$= 0.2239 y \times 0.103$$

$$= \underline{0.0231 y}$$

⑧税引前利益に対する利益対応税率

利益対応税額を x とする。

$$x = x_1 + x_2 + x_3 + x_4 + x_5 + x_6$$

$$= \underline{0.2975 y}$$

2. 税引後利益に対する率の算定

税引後利益を z 、税引前利益を y 、税額を x とする。

$$\text{利益対応税率} = \frac{x}{z} = \frac{0.2975 y}{(1-0.2975) y} = \frac{0.2975 y}{0.7025 y} = 0.4235$$

税引前利益	y
利益対応税	
x	$= 0.2975 y$
税引後利益	
z	$= (1-0.2975) y$

Ⅷ.料金設定に用いた設備数及びトラヒック

1.設備数等

(1) 収容ルータ(1Gbit/sタイプ) 装置数								(単位: 台)
区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
収容ルータ(1Gbit/sタイプ) 装置数	4,698	4,687	4,584	3,618	2,618	1,618	15,146	NGNのエリア展開及びユーザ数等を踏まえ予測
(2) 収容ルータ(10Gbit/sタイプ) 装置数								(単位: 台)
区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
収容ルータ(10Gbit/sタイプ) 装置数	75	200	492	873	1,094	1,174	3,182	NGNのエリア展開及びユーザ数等を踏まえ予測
(3) 網終端装置 (ISP) 装置数								(単位: 台)
区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
網終端装置 (ISP) 装置数	4,256	3,014	2,804	2,795	2,795	2,795	12,208	ユーザ数等を踏まえ予測
(4) SNIルータ (IP電話) 装置数								(単位: 台)
区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
収容ルータ (IP電話) 装置数	52	52	52	52	52	52	221	ユーザ数等を踏まえ予測

2.電話トラヒック

(1) 通信回数								(単位:千回)
通信先	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①光IP電話(東日本エリア内)	2,110,270	1,997,446	1,837,349	1,651,569	1,481,354	1,325,589	6,795,223	2023年度の電話トラヒック実績を基に、 施設数の増加や他の通信先施設数の変動、 IP網への移行状況を加味して算定
②メタルIP電話(東日本エリア内)	466,483	611,442	617,521	510,644	416,941	335,272	2,033,238	
③光IP電話(旧ゲートウェイルータ経由)	4,161	0	0	0	0	0	0	
④光IP電話(メディアゲートウェイ経由)	4,856,569	1,783,670	0	0	0	0	0	
⑤光IP電話(新ゲートウェイルータ経由)	1,960,873	4,817,073	6,377,696	6,188,379	5,991,921	5,789,754	25,997,936	
⑥メタルIP電話(新ゲートウェイルータ経由)	348,353	1,680,977	2,252,068	2,004,583	1,766,489	1,537,747	7,981,131	
⑦合計	9,746,709	10,890,608	11,084,634	10,355,175	9,656,705	8,988,362	42,807,528	
⑧セッションボーダコントローラ経由	2,309,226	6,498,050	8,629,764	8,192,962	7,758,410	7,327,501	33,979,067	
⑨DNSサーバ経由	1,607,090	4,650,361	6,178,325	5,842,998	5,511,057	5,183,395	24,177,173	
⑩光IP電話接続機能(県内NGN)	6,821,603	6,600,743	6,377,696	6,188,379	5,991,921	5,789,754	25,997,936	③+④+⑤
⑪DNSサーバ経由	1,314,143	3,227,890	4,274,569	4,150,897	4,022,006	3,888,894	17,442,146	
⑫メタルIP電話接続機能(県内NGN)	348,353	1,680,977	2,252,068	2,004,583	1,766,489	1,537,747	7,981,131	⑥
⑬DNSサーバ経由	292,947	1,422,471	1,903,756	1,692,101	1,489,051	1,294,501	6,735,027	

(2) 通信時間								(単位:千時間)
通信先	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①光IP電話(東日本エリア内)	58,367	53,881	48,130	41,665	35,950	30,907	170,122	2023年度の電話トラヒック実績を基に、 施設数の増加や他の通信先施設数の変動、 IP網への移行状況を加味して算定
②メタルIP電話(東日本エリア内)	11,815	15,425	15,299	12,317	9,786	7,652	48,910	
③光IP電話(旧ゲートウェイルータ経由)	446	0	0	0	0	0	0	
④光IP電話(メディアゲートウェイ経由)	150,653	54,122	0	0	0	0	0	
⑤光IP電話(新ゲートウェイルータ経由)	52,972	139,241	182,834	173,001	163,556	154,481	722,213	
⑥メタルIP電話(新ゲートウェイルータ経由)	8,458	52,748	70,649	61,853	53,595	45,864	245,148	
⑦合計	282,711	315,417	316,912	288,836	262,887	238,904	1,186,393	
⑧光IP電話接続機能(県内NGN)	204,071	193,363	182,834	173,001	163,556	154,481	722,213	③+④+⑤
⑨メタルIP電話接続機能(県内NGN)	8,458	52,748	70,649	61,853	53,595	45,864	245,148	⑥

3. 一般収容局ルータ優先/パケット識別機能を用いた優先転送サービスの施設数										(単位:千契約)
区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計		備考	
優先転送サービス	18	20	23	25	28	30	106	2023年度実績を踏まえ予測		

(1) QoS制御係数考慮前							(2) QoS制御係数考慮後		(単位:Tbit)
ア. 中継ルータに用いるもの							ウ. 中継ルータに用いるもの		
区分	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考	
a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)	334,880,321	373,597,726	417,855,517	467,854,493	524,344,960	588,203,031	2,091,657,433		
b. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※高優先クラスのもの	123	20	12	10	8	6	41	パケット数にQoS制御係数を考慮	
c. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	214,508	213,068	207,395	196,283	185,603	175,338	817,886	ベストエフォート:1,000	
d. メタルIP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	9,656	60,011	80,377	70,370	60,975	52,179	278,904	高優先クラス:1.163	
e. 優先パケットルーティング伝送機能	2,710,921	2,750,239	2,789,945	2,830,055	2,870,585	2,911,549	12,089,694	高優先クラス:1.258	
f. その他	17,237,977	17,556,924	17,645,634	16,437,005	14,061,970	11,495,265	64,029,105	最優先クラス:1.264	
g. 合計	355,053,506	394,177,988	438,578,880	487,388,216	541,524,101	602,837,369	2,168,873,063	2,187,655,277	

イ、伝送路に用いるもの							エ、伝送路に用いるもの		備考
区分	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度		
a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)	334,880,321	373,597,726	417,855,517	467,854,493	524,344,960	588,203,031	2,091,657,433	パケット数にQoS制御係数を考慮 ベストエフォート:1,000 優先クラス:1.163 高優先クラス:1.258 最優先クラス:1.264	
b. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※高優先クラスのもの	123	20	12	10	8	6	41		
c. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	214,508	213,068	207,395	196,283	185,603	175,338	817,886		
d. メタルIP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	9,656	60,011	80,377	70,370	60,975	52,179	278,904		
e. 優先パケットルーティング伝送機能	2,710,921	2,750,239	2,789,945	2,830,055	2,870,585	2,911,549	12,089,694		
f. その他	33,977,374	34,808,616	34,981,314	32,582,257	27,848,277	22,729,090	126,843,092		
g. 合計	371,792,903	411,429,680	455,914,560	503,533,468	555,310,407	614,071,195	2,231,687,050		2,266,675,273

5. 施設数								
区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
a.ひかり電話(千ch)	9,921	9,687	9,453	9,220	8,986	8,752	39,329	
b.フレッツ光(千契約)	13,263	13,233	13,203	13,173	13,143	13,113	56,002	

X.料金設定に使用する貸倒率

(単位:百万円)

	2023年度	備考
①接続料の貸倒額	0	参考1.設備区分別の費用明細表より
②接続料	114,894	2023年度実績 (接続会計報告書 様式第1 第一種指定設備管理部門の受取網使用料、接続装置使用料収入、網改造料収入の合計)
貸倒率	0.00000%	①÷②

(別紙1) 収容ルータのコスト分計に用いた契約数比等

1. 算定方法

収容ルータのうち、優先パケット識別等に係る構成物品(以下、「高速制御部の一部」と記載)について、特別調査によりコストを特定。
「高速制御部の一部」のコストについて、契約数比等により各機能に分計。

2. 算定結果

(1) 収容ルータのうち、「高速制御部の一部」のコストの特定

	接続料原価 (単位: 百万円)	備考
a. 収容ルータ(高速制御部の一部)	4,043	特別調査により特定
b. 収容ルータ(1 Gbit/sタイプ)(高速制御部の一部以外)	84,113	特別調査により特定
c. 収容ルータ(10 Gbit/sタイプ)(高速制御部の一部以外)	38,041	特別調査により特定
d. 合計	126,197	(Ⅱ-1)⑤収容ルータ ※2024年度第4四半期-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)

(2) 「高速制御部の一部」のコストの分計

	契約数比等	接続料原価 (単位: 百万円)	備考
a. 優先パケット機能で用いる場合	0.090396%	3,6547	一般収容局ルータ優先パケット識別機能を用いた優先転送サービス施設数
b. SIPサーバと連携して提供する場合	35.10%	1,419	一般収容局ルータ優先パケット識別機能を用いたひかり電話施設数等
c. 上記以外	64.83%	2,621	一般収容局ルータ優先パケット識別機能を用いたフレッツ施設数等
d. 収容局接続機能(1 Gbit/sタイプ)	-	1,805	$c \times ((1)のb / ((1)のb + (1)のc))$
e. 収容局接続機能(10 Gbit/sタイプ)	-	816	$c \times ((1)のc / ((1)のb + (1)のc))$
f. 合計	100.00%	4,043	

(別紙2) SIPサーバのコスト分計に用いた取得資産価額比等

1. 算定方法

SIPサーバのうち、「専ら光IP電話の提供の用に供するもの」について、特別調査によりコストを特定。

2. 算定結果

	取得資産価額比	接続料原価 (単位: 百万円)	備考
a. 下記以外の場合	32.76%	19,825	特別調査により特定
b. 専ら光IP電話の提供の用に供するもの	67.24%	40,683	特別調査により特定
c. 合計	100.00%	60,508	(Ⅱ-1)⑤SIPサーバ ※2024年度第4四半期-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)

(別紙3) 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)のコスト分計に用いたトラヒック比等

1. 算定方法

「関門系ルータ交換機能」と「一般中継系ルータ交換伝送機能」のコストについて、下記のトラヒック比により各機能に分計。

2. トラヒック比

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
a. 収容局接続機能(1 Gbit/sタイプ)	73.96%	収容されるユーザ数に基づき予測
b. 収容局接続機能(10 Gbit/sタイプ)	26.04%	収容されるユーザ数に基づき予測
c. 合計	100.00%	

(別紙4) 光IP電話接続機能(県内NGN)における端末系ルータ交換機能のコスト分計に用いたトラヒック比等

1. 算定方法

「高速制御部の一部」の「SIPサーバと連携して提供する場合」と「端末系ルータ交換機能 (2) 専らIP電話の提供の用に供するもの」のコストについて、下記のトラヒック比により各機能に分計。

2. トラヒック比

区分	2024年度第4四半期-2028年度	対応するエッジ設備
a. 光IP電話接続機能(県内NGN)	67.83%	ゲートウェイルータ(メタルIP電話発着を除く)
b. 上記以外 ^{※1} (接続料原価から控除)	32.17%	収容ルータ(当社のひかり電話ユーザ間の通信相当に係るもの・最優先通信/高優先通信、当社のメタルIP電話とひかり電話ユーザ間の通信相当に係るもの)(※2)
c. 合計	100.00%	

※1 第一種指定電気通信設備利用部門がコスト総額を負担

※2 収容ルータは、ゲートウェイルータ経由呼と当社のひかり電話ユーザ間および当社のメタルIP電話とひかり電話ユーザ間の通信との通信時間比等を基に算定

(別紙5) QoS制御係数算出の考え方

1. トラヒック増と遅延時間削減に必要な設備量の関係式

(1) クラス k の系内時間 W_k は、ポラチエック=ヒンチンの公式に基づき以下の通り。

$$W_k(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = \frac{\sum_n \lambda_n E[S^2]}{2(1 - \rho_{n-1})(1 - \rho_n)} = \frac{E[X^2]}{2E[X]} \cdot \frac{\sum_n \lambda_n E[X]}{(B - \sum_{n \leq k} \lambda_n E[X])(B - \sum_{n \leq k} \lambda_n E[X])}$$

(2) 以下の各クラスの遅延時間について、「左側の式=右側の式」となるよう数式を展開・整理することにより、 $\Delta\lambda_n$ と ΔB の関係性(必要設備量)を求める。

【クラス1(W_1)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_1(\lambda_1 + \Delta\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n + \Delta\lambda_1}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta\lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_2}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta\lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_3}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta\lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_4}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n}{B(B - \lambda_1 E[X])}$$

【クラス2(W_2)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_2(\lambda_1 + \Delta\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n + \Delta\lambda_1}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \\ W_2(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta\lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_2}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \\ W_2(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta\lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_3}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \\ W_2(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta\lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_4}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_2(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n}{(B - \lambda_1 E[X])(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X])}$$

【クラス3(W_3)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_3(\lambda_1 + \Delta\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n + \Delta\lambda_1}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])} \\ W_3(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta\lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_2}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])} \\ W_3(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta\lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_3}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])} \\ W_3(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta\lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_4}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_3(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n}{(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X])(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])}$$

【クラス4(W_4)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_4(\lambda_1 + \Delta\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n + \Delta\lambda_1}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta\lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X] - \Delta\lambda_4 E[X])} \\ W_4(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta\lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_2}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta\lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X] - \Delta\lambda_4 E[X])} \\ W_4(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta\lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_3}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta\lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X] - \Delta\lambda_4 E[X])} \\ W_4(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta\lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n \Delta\lambda_4}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta\lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta\lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta\lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X] - \Delta\lambda_4 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_4(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_n \lambda_n}{(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X])(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X])}$$

【前提条件】

- クラスの定義
 クラス1: 最優先クラス
 クラス2: 高優先クラス
 クラス3: 優先クラス
 クラス4: ベストエフォート
- クラス k の平均遅延時間: W_k
- パケット長: X
- 設備量(出力帯域): B
- パケット送出時間: $S = X/B$
- クラス k の帯域利用率: $\rho_k = \lambda_k E[S]$

(別紙6) QoS制御係数の算出

2. クラス n のトラヒック増 $\Delta\lambda_n$ と、クラス k の遅延時間 W_k の増加を解消するために必要な設備量 ΔB のマトリックス(数式)

	クラス4の トラヒックが増加	クラス3の トラヒックが増加	クラス2の トラヒックが増加	クラス1の トラヒックが増加	
クラス1の 必要設備量	$\frac{1/\rho}{C_1+1}$			$\frac{C_1+1/\rho}{C_1+1}$	$C_1 = \frac{1}{1-\rho_1}$
クラス2の 必要設備量	$\frac{1/\rho}{C_1+C_2}$		$\frac{C_2+1/\rho}{C_1+C_2}$	$\frac{C_1+C_2+1/\rho}{C_1+C_2}$	$C_2 = \frac{1}{1-\rho_1-\rho_2}$
クラス3の 必要設備量	$\frac{1/\rho}{C_2+C_3}$	$\frac{C_3+1/\rho}{C_2+C_3}$	$\frac{C_2+C_3+1/\rho}{C_2+C_3}$		$C_3 = \frac{1}{1-\rho_1-\rho_2-\rho_3}$
クラス4の 必要設備量	$\frac{C_4+1/\rho}{C_3+C_4}$	$\frac{C_3+C_4+1/\rho}{C_3+C_4}$			$C_4 = \frac{1}{1-\rho_1-\rho_2-\rho_3-\rho_4}$

3. Input値の算定

QoSクラス	トラヒックウエイト (2024.4Q-2028)	ρ_n	帯域制御係数	ρ_n (帯域制御係数考慮後)
最優先クラス	0.068%	0.0001360	1.20	0.0001632
高優先クラス※	5.665%	0.0113298	1.16	0.0131426
優先クラス	0.542%	0.0010835	1.00	0.0010835
ベストエフォート	93.725%	0.1874508	1.00	0.1874508
合計	100.000%	0.2000000		0.2018400

※現行のQoS換算係数の適用範囲に対して、帯域制御係数を加味。

●定数の算出

$C_1 =$	1.0001632
$C_2 =$	1.0134851
$C_3 =$	1.0145992
$C_4 =$	1.2528816

4. クラス n のトラヒック増 $\Delta\lambda_n$ と、クラス k の遅延時間 W_k の増加を解消するために必要な設備量 ΔB のマトリックス(指数)

ネットワーク全体の遅延時間が解消される必要設備量として、最大値を必要設備量のクラス n の指数として採用する。

	クラス4の トラヒックが増加	クラス3の トラヒックが増加	クラス2の トラヒックが増加	クラス1の トラヒックが増加
クラス1の 必要設備量	2.47701			2.97705
クラス2の 必要設備量	2.46042		2.96373	3.46042
クラス3の 必要設備量	2.44291	2.94318	3.44291	
クラス4の 必要設備量	2.73753	3.18499		
上記の内、 最大値	2.73753	3.18499	3.44291	3.46042

5. QoS制御係数の算定結果

ベストエフォート	優先クラス	高優先クラス	最優先クラス
1.000	1.163	1.258	1.264

(別紙7) 帯域制御係数の設定

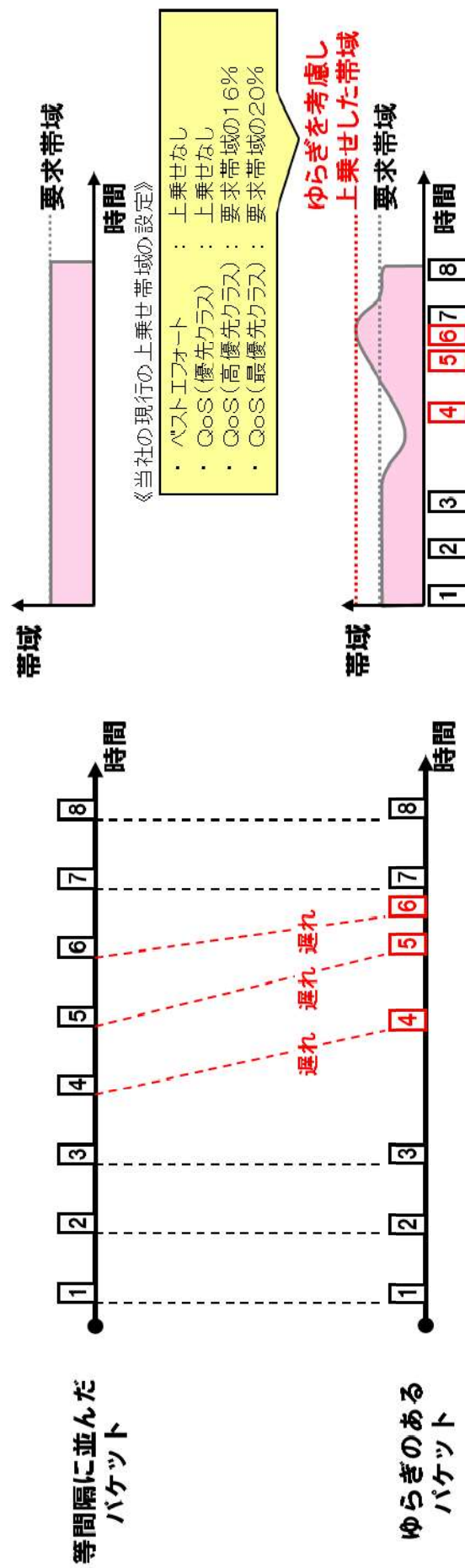
- QoS通信(高優先・最優先クラス)では「ゆらぎ」を吸収するために、通信要求時の帯域を上乗せして管理していることに着目し、QoSの有無・程度に応じたコスト差を設定。
- 具体的には、通信品質に関する法令や国際標準に定められている、遅延等の品質を確保するため、以下のような比率で上乗せ帯域を設定しています。

ベストエフォート・QoS(優先クラス) : QoS(高優先クラス) : QoS(最優先クラス) = 1.00 : 1.16 : 1.20

■ 等間隔に並んで送信されたパケットが、1つの装置で複数通信のパケットを束ねて転送する際に間隔がずれることを「ゆらぎ」といいます。

■ 「ゆらぎ」があると、パケットの間隔が詰まっているところより大きい帯域を使うことになります。

■ こうした「ゆらぎ」を吸収するために、NGNでは、網管理上、通信要求時の要求帯域に対して上乗せした帯域で管理しており、品質が高いほど上乗せする率を高くしています。



(別添1) 収容ルーターの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	16,155	16,794	17,382	16,665	14,103	11,203	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	2,595	2,697	2,790	2,673	2,260	1,793	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	1,546	1,589	1,562	1,392	1,181	969	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	195	209	223	219	190	155	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	645	694	721	695	586	460	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	4,194	4,942	5,614	6,128	6,027	5,430	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	189	222	565	2,028	1,733	1,192	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	25	25	306	1,344	1,072	561	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	25,518	27,147	28,857	29,800	26,080	21,202	

(別添2) 収容ルータの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	57,838	61,973	66,097	65,280	56,893	46,542	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	12,173	14,247	16,532	19,550	20,373	18,839	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	32,358	34,498	36,374	35,194	29,828	23,675	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	7,844	8,363	8,820	8,537	7,240	5,750	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	46,092	49,123	51,753	50,000	42,290	33,490	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	10,256	10,929	11,512	11,117	9,398	7,438	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	32,098	34,241	36,151	35,063	29,818	23,756	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	11,886	12,670	13,353	12,909	10,928	8,662	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	168,387	179,835	190,375	185,537	158,829	127,463	
		正味固定資産	42,159	46,209	50,217	52,113	47,939	40,689	

(別添3) 中継ルータの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	925	509	554	596	635	671	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	148	81	88	95	101	107	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	88	98	100	112	127	147	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	11	6	7	8	9	10	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	37	25	27	29	31	33	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	295	223	252	270	283	293	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	106	22	24	26	28	30	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	71	1	1	1	1	1	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	1,611	964	1,052	1,136	1,214	1,291	

(別添4) 中継ルータの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	2,899	1,643	1,843	2,043	2,243	2,443	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	759	715	761	793	817	840	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	2,161	1,225	1,374	1,523	1,672	1,821	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	519	294	330	366	402	438	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	3,131	1,775	1,991	2,207	2,423	2,639	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	698	396	444	492	540	588	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	2,120	1,202	1,348	1,494	1,640	1,786	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	802	455	510	565	620	675	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	10,311	5,845	6,556	7,267	7,978	8,689	
		正味固定資産	2,779	1,860	2,045	2,216	2,379	2,541	

(別添5) SIPサーバーの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	5,286	5,510	6,414	7,078	6,803	5,863	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	1,052	1,097	1,277	1,409	1,354	1,167	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	632	683	814	839	840	723	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	80	86	103	117	116	103	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	254	289	391	481	478	404	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	1,625	1,950	2,717	3,428	3,570	3,271	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	76	81	105	145	145	152	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	10	11	15	20	21	19	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	9,005	9,696	11,821	13,497	13,306	11,683	

(別添6) SIPサーバーの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	22,852	24,558	29,470	33,525	33,218	29,511	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	4,067	5,389	9,300	12,917	12,872	10,089	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	14,711	15,809	18,971	21,581	21,383	18,997	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	3,406	3,660	4,392	4,997	4,951	4,399	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	18,764	20,165	24,198	27,527	27,275	24,231	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	4,177	4,489	5,387	6,128	6,072	5,394	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	12,941	13,907	16,689	18,985	18,811	16,712	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	4,815	5,174	6,209	7,063	6,999	6,218	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	69,269	74,439	89,328	101,618	100,687	89,451	
		正味固定資産	16,464	18,712	25,288	31,105	30,894	26,100	

(別添7) ゲートウェイルータの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	0 2023年度と同
施設保全費	41	22	3	3	3	3	3 前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
共通費・管理費	8	5	1	1	1	1	1 前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
試験研究費	5	0	0	0	0	0	0 前年度値 × (取得固定資産構成比変動率 × (1 + 効率化率))
通信設備使用料	1	1	0	0	0	0	0 前年度値 × 取得固定資産伸び率
租税公課	2	1	0	0	0	0	0 前年度値 × 正味固定資産伸び率
減価償却費	11	10	1	1	1	2	2 装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	1	1	0	0	0	0	0 装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	0 装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
合計	69	40	5	5	5	6	

(別添8) ゲートウェイルータの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	180	101	14	14	15	16	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	24	19	7	6	5	5	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	105	58	8	8	9	10	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	26	14	2	2	2	2	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	146	81	11	11	12	13	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	32	18	3	3	3	3	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	100	56	8	8	8	8	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	38	22	3	3	3	3	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	533	296	41	41	44	47	
		正味固定資産	119	73	15	14	13	13	

(別添9) 収容ルーター(SNI等)の設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	470	455	460	464	449	434	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	75	73	74	74	71	68	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	45	45	45	45	47	50	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	6	6	6	6	6	6	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	19	19	20	21	20	18	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	147	168	177	186	184	182	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	8	7	7	7	9	10	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	3	2	2	2	2	2	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	770	773	789	803	786	768	

(別添10) 収容ルータ(SNI等)の固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	1,723	1,722	1,794	1,866	1,862	1,858	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	673	658	634	602	495	390	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半稼働)－除却損
	その他	取得固定資産	938	937	977	1,017	1,015	1,013	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	正味固定資産	227	226	235	244	244	244	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	1,333	1,332	1,388	1,444	1,441	1,438	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	297	297	310	323	322	321	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		取得固定資産	929	927	966	1,005	1,003	1,001	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
その他		正味固定資産	343	343	358	373	372	371	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		取得固定資産	4,922	4,918	5,125	5,332	5,321	5,310	
		正味固定資産	1,540	1,524	1,537	1,542	1,433	1,326	

(別添11) 網終端装置(ISP)の設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	11,992	9,514	7,431	6,941	6,705	6,488	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	1,926	1,528	1,193	1,114	1,076	1,041	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	1,147	807	693	699	722	768	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	144	118	95	91	91	91	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	479	381	297	277	269	263	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	3,356	2,670	2,244	1,883	1,657	1,558	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	210	169	138	127	120	115	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	65	50	42	35	28	23	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	19,256	15,187	12,091	11,132	10,640	10,324	

(別添12) 網終端装置(ISP)の固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	43,175	35,313	28,434	27,382	27,270	27,203	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	4,772	3,258	2,027	1,437	1,027		
	その他	取得固定資産	26,151	21,389	17,223	16,586	16,518	16,477	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
線路設備	ケーブル	取得固定資産	6,276	5,134	4,134	3,981	3,965	3,955	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	36,996	30,259	24,365	23,464	23,368	23,310	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	8,242	6,741	5,428	5,227	5,206	5,193	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	25,423	20,793	16,743	16,124	16,058	16,018	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	9,511	7,780	6,265	6,034	6,010	5,995	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	131,745	107,754	86,765	83,556	83,214	83,008	
		取得固定資産	28,801	22,913	17,854	16,679	16,208	15,871	

(別添13) 伝送路の設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	1,497	1,442	1,447	1,451	1,443	1,426	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	965	930	933	936	931	921	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	1,259	1,283	1,221	1,280	1,349	1,469	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	23	22	23	24	24	24	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	569	553	561	568	563	550	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	4,944	5,063	5,294	5,429	5,469	5,311	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	159	160	165	171	175	179	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	16	19	20	22	23	24	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	9,416	9,453	9,644	9,859	9,954	9,880	

(別添14) 伝送路の固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	60,570	60,252	62,339	64,475	66,130	67,440	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	20,843	19,021	17,415	15,732	13,533	11,089	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	35,916	35,683	36,919	38,184	39,164	39,940	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	8,051	7,996	8,273	8,556	8,776	8,950	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	8,744	8,556	8,802	9,053	9,234	9,366	—
		正味固定資産	546	722	979	1,233	1,407	1,525	—
	その他	取得固定資産	188	184	189	194	198	201	—
		正味固定資産	48	47	48	49	50	51	—
土木設備		取得固定資産	12,421	12,154	12,503	12,859	13,116	13,304	—
		正味固定資産	1,899	1,858	1,911	1,965	2,004	2,033	—
		取得固定資産	36,147	35,729	36,967	38,234	39,215	39,992	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	8,031	7,937	8,212	8,493	8,711	8,884	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
その他		取得固定資産	11,536	11,457	11,849	12,251	12,560	12,804	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	6,583	6,545	6,770	7,001	7,180	7,321	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		取得固定資産	165,521	164,015	169,568	175,250	179,617	183,047	
		正味固定資産	46,001	44,126	43,608	43,029	41,661	39,853	

(別添15) セッションボーダコントローラの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	0 2023年度と同
施設保全費	91	91	93	91	141	149	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	6	6	6	6	9	10	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	4	4	4	4	9	6	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	0	0	0	0	0	0	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	2	2	2	2	4	5	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	57	56	59	59	97	106	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	1	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	162	159	164	162	260	276	

(別添16) セッションボーダコントローラの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	141	146	154	156	249	272	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	75	65	57	43	115	180	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	81	83	88	89	142	155	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	20	21	22	22	35	38	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	145	150	159	161	257	281	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	32	33	35	35	56	61	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	625	645	682	691	1,103	1,205	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	189	195	206	208	333	364	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	991	1,024	1,083	1,097	1,751	1,913	
		正味固定資産	315	314	320	308	539	643	

(別添17) ENUMサーバーの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	0 2023年度と同
施設保全費	128	129	133	130	202	214	前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
共通費・管理費	9	9	9	9	14	15	前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
試験研究費	5	5	5	5	11	7	前年度値 × (取得固定資産構成比変動率 × (1 + 効率化率))
通信設備使用料	1	1	1	1	2	2	前年度値 × 取得固定資産伸び率
租税公課	3	3	3	3	5	6	前年度値 × 正味固定資産伸び率
減価償却費	80	79	84	84	135	148	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	1	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
合計	226	226	235	232	369	392	

(別添18) ENUMサーバーの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	196	204	216	218	349	381	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	105	91	80	60	160	251	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	113	118	125	126	202	221	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	27	28	30	30	48	52	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	202	210	222	224	359	392	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	45	47	50	50	80	87	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	873	910	964	973	1,559	1,704	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	264	275	291	293	470	514	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	1,384	1,442	1,527	1,541	2,469	2,698	
		正味固定資産	441	441	451	433	758	904	

(別添19) IP電話用DNSサーバの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	0 2023年度と同
施設保全費	37	37	37	36	56	60	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	2	2	2	2	3	3	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	2	2	2	2	5	3	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	0	0	0	0	0	0	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	1	1	1	1	2	2	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	23	23	25	25	41	45	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	66	65	67	66	107	113	

(別添20) IP電話用DNSサーバの固定資産

(単位:百万円)

			2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	取得固定資産	57	60	63	64	102	112	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
		正味固定資産	31	27	23	17	47	73	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	取得固定資産	34	35	36	36	58	64	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	7	7	7	7	11	12	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
		正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物		取得固定資産	59	62	65	66	106	117	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	13	14	15	15	24	26	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	その他	取得固定資産	255	266	277	279	446	491	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		正味固定資産	77	80	83	84	135	149	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計		取得固定資産	405	423	441	445	712	784	
		正味固定資産	129	128	128	123	217	260	

設備区分別の費用明細表
(2023年度継続会計をもとに算定)

(参考1)

(単位：百万円)

	第一種指定設備管理部門計	一般第一種指定設備	特別第一種指定設備	第一種指定設備別管理部門計																										第一種指定設備利用部門計	指定外電気通信設備	付加機能使用料・雑収入控除項目	サービス活動	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
				端末系伝送路（電気通信等の伝達に係るもの）	回線管理運営	左記以外	主配線器（電気通信等の伝達に係るもの）	端末系伝送路（光通信等の伝達に係るもの）	主配線器（光通信等の伝達に係るもの）	公衆電話設備	端末系交換設備（普通）	端末系交換設備（データ）	うちルーター・タイミング伝送機能に係るもの	端末系交換設備	番号案内ディスプレイ	番号案内設備	専用加入者線装置とデジタル	専用加入者線装置とアナログ	専用線ノード装置	専用加入者線装置とデジタル・専用線ノード装置	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路						専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置	専用加入者線装置と相互接続点伝送路	専用線ノード装置

64

設備区分別の費用明細表（一般第一種指定設備の内訳）

(単位：百万円)

65

(参考 4)

設備区分別固定資産明細表 (一般第一種指定設備の内訳)

(参考 2) 設備区分別固定資産明細表をもとに算定

(単位: 百万円)

設備区分等 資産の項目		設備区分等																		
		一般第一種指定設備	収容ルータ	中継ルータ	県間中継ルータ	SIPサーバ	セッションボーダコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	ゲートウェイルータ	メディアゲートウェイ	収容ルータ（SNI）	網終端装置（VPN）	網終端装置（ISP）	収容イーサネットスイッチ	中継イーサネットスイッチ	ゲートウェイスイッチ	伝送路	音声利用IP通信網設備	
機械設備	公衆電話機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市内機械設備	取得価額	2,418	2	0	0	1	0	0	0	0	2,406	0	0	2	2	0	0	4	0
		減価償却累計額	2,415	2	0	0	1	0	0	0	0	2,405	0	0	2	2	0	0	3	0
		正味価額	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電信機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却累計額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正味価額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電報機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DDX機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
画像機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
OCN機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝送機械設備	取得価額	358,175	62,416	3,176	4,681	25,972	152	212	62	195	7,663	1,857	11,281	47,041	51,845	2,124	39	139,460	0	
	減価償却累計額	262,968	49,406	2,374	4,115	21,425	75	104	30	168	3,274	1,160	10,033	41,620	41,447	1,649	24	86,063	0	
	正味価額	95,207	13,010	802	566	4,548	77	107	31	27	4,389	697	1,248	5,421	10,398	475	15	53,397	0	
無線機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電力設備	取得価額	156,781	27,068	1,836	2,145	11,294	68	95	28	88	4,349	783	5,102	21,713	22,908	950	16	58,339	0	
	減価償却累計額	117,363	20,269	1,374	1,605	8,456	51	71	21	66	3,256	586	3,819	16,252	17,151	711	12	43,663	0	
	正味価額	39,418	6,799	462	540	2,838	17	24	7	22	1,093	197	1,283	5,461	5,757	239	4	14,676	0	
電話番号案内設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総合監視システム	取得価額	3,709	710	48	56	296	2	2	1	2	114	21	134	570	601	25	0	1,126	0	
	減価償却累計額	2,623	502	34	40	210	1	2	1	2	81	15	95	404	426	18	0	794	0	
	正味価額	1,086	208	14	16	87	1	1	0	1	33	6	39	166	176	7	0	332	0	
空中線設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通信衛星設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
端末設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
線路設備	市内線路設備	取得価額	22,851	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,851	0
		減価償却累計額	21,204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,204	0
		正味価額	1,647	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,647	0
市外線路設備	取得価額	6,662	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,662	0	
	減価償却累計額	6,310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,310	0	
	正味価額	352	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	352	0	
土木設備	取得価額	41,895	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,895	0	
	減価償却累計額	35,493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35,493	0	
	正味価額	6,402	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,402	0	
海底線設備	取得価額	758	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	758	0	
	減価償却累計額	727	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	727	0	
	正味価額	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	
建物	取得価額	241,630	46,092	3,131	3,657	18,764	145	202	59	146	7,227	1,333	8,691	36,996	39,018	1,619	28	74,524	0	
	減価償却累計額	187,879	35,836	2,432	2,841	14,587	112	157	46	113	5,618	1,036	6,756	28,754	30,331	1,258	22	57,978	0	
	正味価額	53,752	10,256	698	816	4,177	32	45	13	32	1,609	297	1,936	8,242	8,686	360	6	16,546	0	
構築物	取得価額	19,029	3,626	246	287	1,474	11	16	5	11	568	105	683	2,907	3,068	127	2	5,893	0	
	減価償却累計額	14,683	2,796	190	222	1,137	9	12	4	9	438	81	527	2,244	2,367	98	2	4,548	0	
	正味価額	4,346	830	56	65	337	3	4	1	3	130	24	156	663	701	29	1	1,344	0	
機械及び装置	取得価額	1,632	397	27	32	139	3	4	1	1	54	11	75	320	337	14	0	218	0	
	減価償却累計額	1,435	351	24	28	122	2	3	1	1	47	10	66	282	297	12	0	186	0	
	正味価額	197	46	3	4	17	0	0	0	0	6	1	9	37	39	2	0	32	0	
車両及び船舶	取得価額	858	226	16	18	94	1	1	0	1	36	7	43	183	192	8	0	33	0	
	減価償却累計額	798	210	14	17	88	1	1	0	1	34	6	40	170	178	7	0	31	0	
	正味価額	60	16	1	1	7	0	0	0	0	3	0	3	13	13	1	0	2	0	
工具、器具及び備品	取得価額	18,788	4,643	315	368	1,697	26	37	11	13	655	134	875	3,724	3,930	163	3	2,194	0	
	減価償却累計額	14,058	3,490	237	277	1,273	20	28	8	10	491	101	658	2,802	2,955	123	2	1,583	0	
	正味価額	4,730	1,153	78	91	424	6	9	3	3	164	33	217	923						

(参考5)

設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)

(参考3)設備区分別の費用明細表をもとに算定

(単位:百万円)

設備区分等 費用の項目	一般第一種指定設備			
	伝送路	右記以外	県内 N G N	県間 N G N
営 業 費	0	0	0	0
(再)貸倒損失	0	0	0	0
運 用 費	0	0	0	0
施 設 保 全 費	3,520	1,773	1,497	250
共 通 費	990	464	450	76
管 理 費	1,146	544	515	87
試 験 研 究 費	2,725	1,253	1,259	213
通 信 設 備 使 用 料	83	54	23	6
租 税 公 課	1,417	755	569	93
減 価 償 却 費	12,157	5,943	4,944	1,270
固 定 資 産 除 却 費	384	199	159	26
(再)除却損	41	22	16	3
合 計	22,422	10,985	9,416	2,021

(参考6)
設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)
(参考4)設備区分別の費用明細表をもとに算定

(単位:百万円)

設備区分等			一般第一種指定設備			
			伝送路	右記以外	県内 N G N	県間 N G N
資産の項目						
機械設備	公衆電話機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	市内機械設備	取得価額	4	2	2	0
		減価償却累計額	3	1	2	0
		正味価額	0	0	0	0
	市外機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	電信機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	電報機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	DDX機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	画像機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	OCN機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	伝送機械設備	取得価額	139,460	61,109	67,520	10,831
		減価償却累計額	86,063	35,282	45,939	4,842
		正味価額	53,397	25,827	21,581	5,989
	無線機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	電力設備	取得価額	58,339	25,439	28,442	4,458
		減価償却累計額	43,663	19,044	21,282	3,337
		正味価額	14,676	6,395	7,160	1,121
	電話番号案内設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	総合監視システム	取得価額	1,126	522	522	82
		減価償却累計額	794	367	369	58
		正味価額	332	155	153	24
	空中線設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	通信衛星設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
端末設備	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
線路設備	市内線路設備	取得価額	22,851	15,296	6,697	858
		減価償却累計額	21,204	14,188	6,219	797
		正味価額	1,647	1,107	479	61
	市外線路設備	取得価額	6,662	4,341	2,014	307
		減価償却累計額	6,310	4,112	1,907	291
		正味価額	352	230	106	16
土木設備	取得価額	41,895	27,770	12,421	1,704	
	減価償却累計額	35,493	23,528	10,521	1,444	
	正味価額	6,402	4,243	1,899	260	
海底線設備	取得価額	758	509	221	28	
	減価償却累計額	727	488	212	27	
	正味価額	31	21	9	1	
建物	取得価額	74,524	32,713	36,147	5,664	
	減価償却累計額	57,978	25,454	28,117	4,407	
	正味価額	16,546	7,258	8,031	1,257	
構築物	取得価額	5,893	2,589	2,856	448	
	減価償却累計額	4,548	1,996	2,206	346	
	正味価額	1,344	592	650	102	
機械及び装置	取得価額	218	110	94	14	
	減価償却累計額	186	94	80	12	
	正味価額	32	16	14	2	
車両及び船舶	取得価額	33	17	14	2	
	減価償却累計額	31	16	13	2	
	正味価額	2	1	1	0	
工具、器具及び備品	取得価額	2,194	991	1,043	160	
	減価償却累計額	1,583	715	752	116	
	正味価額	611	275	291	45	
リース資産	取得価額	2,283	1,018	1,089	176	
	減価償却累計額	175	79	83	13	
	正味価額	2,108	939	1,007	162	
土地	取得価額	7,502	3,296	3,636	570	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	7,502	3,296	3,636	570	
建設仮勘定	取得価額	759	360	346	53	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	759	360	346	53	
無形固定資産	取得価額	5,969	3,139	2,458	372	
	減価償却累計額	4,535	2,442	1,819	274	
	正味価額	1,433	697	638	98	
合計	取得価額	370,470	179,222	165,521	25,727	
	減価償却累計額	263,295	127,810	119,520	15,965	
	正味価額	107,175	51,412	46,001	9,762	